

授業科目名	教職論	必修	開講年次	1	単位数	2
科目区分	教職に関する科目(教職の意義等に関する科目)					
サブタイトル	教員としての意識形成の確立	担当者	丸橋 唯郎			
講義概要	<p>【概要】 教職に固有な知識・技術・技能、および教育課程の編成、教科書採択、教育方法などについて学習する。基本的に教育原理で獲得した知識をフルに活用する。</p> <p>【到達目標】 ① 自立する専門職としての教職の属性(= 教職の専門職性)を理解する。② 教育現場に立つ者としての意識を確立する。③教員採用試験突破の知識を獲得する。</p>					
履修条件	教育原理単位取得者であることを前提とする。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 毎回担当者がレジュメを用意する。参考文献は適宜指示する。</p> <p>【参考書】 日本教師教育学会年報等</p>					
授業回数	内容					
1	オリエンテーション					
2	教員像の歴史的展開					
3	教員研究の動向					
4	進路選択に資する各種機会の提供等					
5	教職の意義及び教員の役割					
6	教員評価と教員の専門性					
7	教員の資格と免許状					
8	国公立・私立学校の教員の任用					
9	教育公務員の研修と大学院就学休業					
10	教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む)					
11	地方公務員法と教育公務員特例法					
12	教員の処分					
13	先人たちの教え①... ソクラテス、コメニウス、ルソー、ペスタロッチ等					
14	先人たちの教え②... エラスムス、ヘルバルト、デューイ、エレンケイ等					
15	理想の教員像					
評価方法	中間小テスト、プレゼンテーション授業、積極的な授業態度を評価対象とする。					
評価基準	全出席が大前提。以下、教育学で使う言葉の意味を調べ、理解し、正しくプレゼンテーションできればAかB、そのどれかが不完全である場合、程度に応じてC、D、Eとする。なお、出席が3分の2に満たないものは無条件で不合格とする。					
その他	出席と発言、および積極性を最重視する。					